

共同運営部門：患者サポートセンター

一概要一

2018年4月に「患者サポートセンター」を開設し、業務を遂行している。医師・看護師・MSW・薬剤師・栄養士・事務職員などの多職種のスタッフが集い、“安心を届けるサポートセンター”～入院前から退院後も一人ひとりを支えます～をスローガンに、地域の医療機関からの紹介窓口や入院前の支援など、幅広く医療サービスの提供に努めている。

1. 地域医療連携室の活動実績

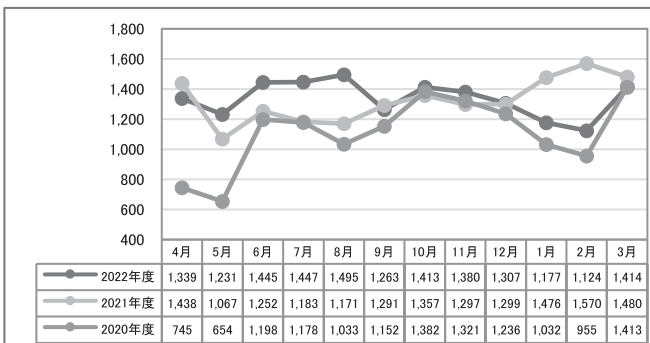
一業務一

地域医療連携室は、かかりつけ医である開業医の先生方、地域の病院の先生方、介護関連事業所の担当者様と連携を図り、紹介・逆紹介を活発にし、良質な医療を提供し地域医療に貢献していくための対応窓口としての業務を行っている。また紹介患者受入の際にも医療知識を有した看護師が対応することで適正な判断が実現でき、質の向上にもつながった。

一実績一

地域医療予約件数(2022年4月～2023年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予約件数	1,339	1,231	1,445	1,447	1,495	1,263	1,413	1,380	1,307	1,177	1,124	1,414	16,035



※地域予約件数(月別)を年度比較した数値をグラフ化したデータ(2020年度～2022年度)

①紹介率・逆紹介率(2022年4月～2023年3月) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介率	71.3	67.5	65.8	61.5	69.7	67.4	69.6	66.3	66.3	67.7	67.4	72.5	67.7
逆紹介率	166.4	158.9	153.6	147.7	166.3	171.7	161.8	161.2	170.2	160.2	176.8	171.2	163.4

※地域医療支援病院用の算出基準にて率を算出

地域医療支援病院の要件である「紹介率が50%以上かつ逆紹介率70%以上」を十分に達成した。

②地域連携クリティカルパス導入件数(2022年4月～2023年3月)

地域連携クリティカルパス導入に積極的に関わっている。

●がん地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
乳がん	3	1	5	2	4	1	1	1	5	2	3	1	29
胃がん	5	1	6	1	0	0	1	4	3	5	2	6	34
大腸がん	3	1	5	5	7	4	2	6	9	4	3	4	53
合計	11	3	16	8	11	5	4	11	17	11	8	11	116

●脳卒中地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
脳卒中	16	17	19	13	16	13	9	13	18	13	16	23	186

●大腿骨地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大腿骨頸部骨折	1	1	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	7

③医療従事者対象の勉強会・研修会(事務局)

地域医療連携室では、医師会等、地域の医療従事者向けの勉強会・研修会の事務局の役割を担っている。

＜りんくうカンファレンス＞

＜クリニカルレベルアップセミナー＞

【詳細は院内行事のページ参照】

④市民健康講座の開催

本年度は感染対策のため全て中止とした。

【詳細は院内行事のページ参照】

⑤その他

＜りんくうメディカルネットワーク＞

地域医療機関とのコミュニケーションを図ることを目的として連携の場を設定している。

▶第9回:2022年10月1日、WEB形式で開催した。

2. MSWの活動実績

一業務一

MSWは患者とその家族の生活や傷病の状況から生じる経済的・社会的・心理的不安や問題等の解決に必要な社会資源の情報提供や活用の助言・指導等を行い、院内の関係職種・地域との関係機関との連携を密にし、患者が安心して療養できるよう支援することを目的とした業務をおこなっている。

医療費の助成制度、生活費に関すること、転院やかかりつけ医紹介、在宅医療・介護、社会保障制度、家族関係の問題など多岐にわたる相談に応じている。

一実績一

早期退院支援に向けた継続した取り組みとして各病棟で週2日、退院支援カンファレンスを行い、入院前の生活状況、介護福祉サービスの利用の有無、退院後の生活課題等、情報を共有し、患者・家族に入院後早期に退院支援が行えるよう取り組んだ。

退院調整においては、件数としては例年通り、転院調整が最も多く、調整件数は1,196件(前年度は1,235件)と、1月あたり約100件(入院患者のみ)の調整ということになった。また退院前に行ったカンファレンスについては前年度と比較して介護連携153件から158件と増加し、共同指導133件から120件と減少している結果となった。今年度はコロナ禍の中で新たにオンラインの退院前カンファレンスを4件行うことができた。今後も地域の関係機関との連携を強めながら、患者が安心して退院後の生活を送れるよう継続して取り組んでいく。

一対外活動実績一

①大阪府産婦人科医会

安心母と子の委員会、泉佐野市周産期支援部会等は例年活動しているが、今年度はコロナ禍で開催なし

②南泉州地域医療介護連携協議会

泉州圏域における医療介護の連携体制の現状と課題・これからの連携について協議を例年行っているが、前年度に引き続き、今年度はコロナ禍で開催なし

③大阪緊急連携ネットワーク 地域連携担当者会議

3次救急病院と慢性期病院の連携についてオンライン会議に出席した

④大腿骨地域連携パス会議

泉州地域における大腿骨地域連携パスの運用について

てメール会議にて意見交換を行った

⑤脳卒中泉州地域リハ連携会議

南泉州地域におけるリハビリに関する課題について、急性期病院、回復期リハ病院、医療療養型病院、連携開業医と情報共有を行い、地域連携パスの運用について協議(3回のオンライン会議)

—各種調整実績と成果—

【転院調整実績】

	2021年度合計	2022年度合計
外来から他院	40	42
入院から他院	1,235	1,196

【在宅調整実績】

	2021年度合計	2022年度合計
在宅	387	397
(介護連携)	153	158
(共同指導)	133	120
施設	130	159

3. 看護師の活動実績

—概要—

ACPの推進と患者サポートセンター看護師の積極性の発揮をキーに、前年度に引き続き入院前支援に加え、総合案内・前方予約支援に看護師を配置し、患者の受診の流れに沿った退院後生活支援の強化に取り組んだ。総合案内では、看護師による急病人対応・感染症スクリーニング・診療科選定についてマニュアルを作成、認定看護師を配置し相談対応の充実を図った。前方予約支援は、速やかな緊急度判定と診療科選定が充実した。

コロナ禍・院内クラスターを経験し、部署全体で感染対策を強化し、入院前のPCR検査の案内においては、5段階の工程をチェックすることで、未検査入院事例を認めず院内感染対策に貢献した。また、12才以下の麻酔前気道症状のスクリーニング強化のために電話問診に取り組み、合併症発生の危険を減らした。他にも様々な感染症対応に注力しつつ、これまでと同様の実績を維持することができた。

—実績・成果—

総合案内に外国人向けのピクトグラムを掲示

会話は要らない! いそげ! 初期対応

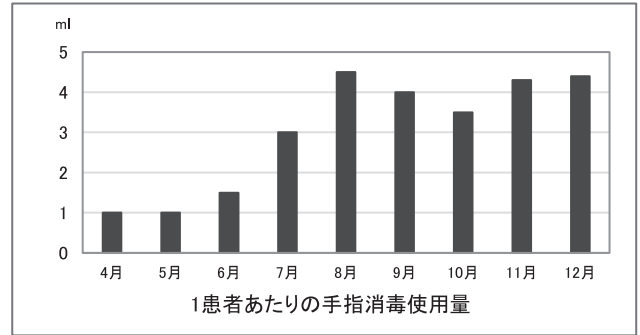
目的: 急病人スクリーニング・感染症トリアージを通訳が来る前に開始する。
 目標: 会話以外でも重要な症状を表現できる
 実践: ピクトグラム掲示
 急病人トリアージ・感染症トリアージの多言語化
 結果: 外国人患者で医療スタッフ到着までのスクリーニング用紙記入完成率100%
 ●先に訴えるべき重要な症状をすべての人に示すことになった。

これ、胸痛やな！わかりやすいわ(医師)

这些是症状。有这些症状的话在这里说就好了吗？(これ症状ですね。症状あったら、言えはいんですか?)

感染対策に関するテストの正答率

	9月	12月
手指消毒タイミング	33%	90%
ゾーニング	33%	100%



問診等患者SC看護師対応実績(月平均件数)

項目	2020年度	2021年度	2022年度
患者SC利用総件数	347	365	383
予定入院患者SC利用件数	277	299	322
緊急入院患者SC利用件数	70	66	62
出張対応件数	73	69	63
夜間・緊急入院時の翌日対応件数	2	5	4
時間内入院患者数	361	372	386
利用率	96%	98%	99%

手術関連(月平均件数)

項目	2020年度	2021年度	2022年度
手術前支援指示対応件数	94	109	115
手術前説明・案内(外科・泌尿器科)	62	67	68
麻酔前訪問	-	141	46
12才以下OP前電話風邪症状確認	-	0	8
12才以下風邪症状OP中止	-	-	4

患者SC関与の加算取得項目(月平均件数)

項目	2020年度	2021年度	2022年度
入退院支援加算1	352	389	349
入院時支援加算1	79	94	76
入院時支援加算2	18	5	3
退院時共同指導料Ⅱ	12	11	9
総合機能評価加算	250	270	254
周術期口腔機能管理後手術加算	2	2	10
新入院患者数	707	772	776

患者SCにおけるクリニカルパス説明(月平均件数)

項目	2020年度	2021年度	2022年度
ベースメカパス	1	1	2
心臓カテーテル・ABLパス	20	53	74
消化器内科・EMRI泊2日入院パス	30	29	23
泌尿器科パス	16	18	15
整形外科パス	13	12	14
脳神経外科パス	4	5	5
緩和ケアスクリーニング	38	46	61
認知症ケアスクリーニング	215	236	248
嚥下スクリーニング	172	189	202

強化の取り組み(月平均件数)

項目	2020年度	2021年度	2022年度
患者SC内、看護師MSWミーティング開催日数	-	19	19
患者SC内、看護師MSWミーティング開催件数	-	19	20
(入院時)退院支援カンファ参加件数	-	419	393
(2回以上)退院支援カンファ参加件数	-	46	51
介護支援連携指導カンファ参加件数	-	0	1
退院時共同指導カンファ件数	-	0	0
メッセージノート配布数	-	-	89

—次年度への抱負—

コロナ禍で関連機関との会合が開催されず、退院前カンファレンス参加が実現しなかった。今年度、深める事ができたACPの知識や院内での連携を活用し、入院後の地域医療機関との連携を強化など、更に入退院支援を充実させたい。